

篠山市立今田中学校 じんけん通信

絆きずな 18号

平成28年12月21日

発行責任者:吉竹一泰 文責:西田さよ子

いじめのない学校に！～2学期アンケート結果から～

めざせ！いじめ0〔ゼロ〕！

いじめは、人間として絶対に許されない行為である！

2学期の「いじめアンケート(11/14実施)」の結果と考察をぜひご一読ください。

今回は、各学年より、学年の実態と個人、集団として、目指すところをお知らせしたいと思います。

〔全校生72名、アンケート実施人数71名〕

【全校生アンケートの結果 71名】

- ・いじめられたことがある 2人
- ・今もいじめられている 0人
- ・人をいじめたことがある 2人
- ・いじめられている人を見たことがある 5人
- ・いじめられている人がいると聞いたことがある 10人
- ・あなたは、いじめられたとき、だれかに相談しますか
 - 先生(学校) 37人
 - 保護者や家族 50人
 - 友達 48人
 - スクールカウンセラー 11人
 - 相談しない 3人
- ・あなたは、いじめられている人を見たらどうしますか
 - 注意する 27人
 - 励ます 33人
 - 先生に伝える 33人
 - 保護者や家族に相談する 28人
 - 友達に相談する 38人
 - 何もしない 0人

【各学年の結果と考察】

1年生

いじめられたことがある・今もいじめられているは、ともに0人でしたが、いじめられている人を見たことがあるは、2人、いじめられている人がいると聞いたことがあるは、3人いました。それぞれ状況を聞いていく中で、特定の生徒に対するよそよそしい接し方がクラスの中であるということが出てきており、人間関係の構築の方法において、まだ課題があると思います。また、いじめられた時に、誰にも相談しないと、答えた生徒が2名おり、自分がいじめられた時に、SOSが出せたり、お互いに敏感になって、友達の異変に気づいたりするなどの学年の雰囲気作りが重要だと感じます。そして、いじめられている人を見たらどうしますか、という問いに対しては、「何もしない」と答えた生徒は0人でしたが、実際にはクラスの中で傷つけられている生徒がいるにもかかわらず、誰も対応していないということがわかってきました。人を傷つける行為に対して気づき、行動できる生徒を育てていくための取り組みを道徳の授業を始め、ふだんの生活の中でしていかなければならないと強く感じています。

2年生

2年生はアンケート結果より、いじめられたことがあると感じている生徒がいました。また人をいじめたことがある、いじめられている人を見たことがある、聞いたことがあると答えた生徒もいました。これは、自分たち自身の行動が振り返られていることの表れだと感じます。普段の生活の中の何気ない遊びやかからかい半分の言動が人に嫌な思いをさせたり、傷つけたりすることにつながることを再度確認しました。学年で一人一人が真剣に考えることにより、相手の思いを考えた時、この言動はおかしいと気づき、相手の立場になって、思いやりの気持ちをもって生活することが大切だと改めて考えることができました。また、人に嫌な思いをさせるような言動を見たとき、勇気を出して注意できる人になってほしいと思います。

いじめられている生徒を見たらどうしますか、という質問に対して何もしないと回答した生徒はいませんでした。人に嫌な思いをさせるような言動を見ると先生や家族に相談する生徒が多くいます。日常生活の中で、お互いの異変に気づける人権感覚を身につけ、さらにより良い集団になってほしいと願っています。

3年生

3年生は、いじめられたときに相談する相手は、友人が最も多く、次に、保護者や家族に相談するという生徒が多くいました。また、いじめられている人を見たときには、先生に伝えるという答えが最も多く、次は、友人に相談する生徒が多くいました。この2つにおいて、前回のアンケートでは誰にも相談せず、何もしなかった生徒がいましたが、友人に相談するようになり、お互いが信頼できる存在に変わってきたことを表していると感じます。これは、義務教育9年間の最後の年になり、これまでの中学生活の様々な取り組みを通して、友人とのつながりが強いものになったことがわかります。特に、2学期後半から3年生全体が落ち着いた学校生活を送れるようになったことで友人との仲も親密になり、安心して自分のことを話せる相手ができたと感じます。精神的にも安定した状態で物事を判断できるようになったのではないかと思います。大きな成長を感じています。

新聞やテレビなどの報道を聞いていますと、昨今の「いじめ問題」の広がりや深刻さに強い危機感を感じております。そして、「いじめ問題」はどの学校にも、どの生徒にも、おこりうるものと私たちは認識し、未然防止と早期の適切な対応を心がけています。そういった意味からも道徳教育や人権教育の充実を図っていかねばならないと考えています。また学期に1回の「いじめアンケート」や教育相談活動を実施することとしています。

今年度の2回目のアンケート（前回6月実施から11月14日まで）では、各学年で分析をし、今後の指導に活かしていきたいと考えています。

言う側とする側にとっては、冗談のつもりや悪ふざけであっても、悪意がなかったとしても、受け手が『辛い』『嫌だ』と、感じた時点で**いじめにつながるということ**を指導し、再確認しました。そのことで、自分自身の言動を振り返り、自分の言動が人を傷つけていたということを素直に振り返ることができるようになっていきます。

お互いの思いが違う人間同士の生活だからこそ、意識して相手の立場に立つことができる人になってほしいと願っています。今後も、道徳の時間や学級活動の時間、全校集会などを通して、日常生活の中で人の気持ちを考えた発言や行動することの大切さ、集団生活の意義などの指導を積み重ねています。

また、このアンケートで、特筆すべき点は、今田中の生徒の多くが保護者の方との結びつき強いということです。篠山市全体として、このアンケートの結果を見ますと、いじめられたとき、保護者や家族に相談するとしている生徒の数は、そう多くありませんが、**今田中の生徒の約8割が、保護者や家族の方に相談するとしています。この保護者・地域の方々の中学生をしっかりと見守り、支え、指導いただいていることが、生徒たちの大きな成長につながっています。**本当に普段から、温かい目で見えていただき、支援していただいていることを感じます。ありがとうございます。

今後も「今田中学校いじめ防止基本方針」のもと、「毎日のチャレンジノート（日記帳）」の充実や「ひだまりポスト」の啓発、「スクールカウンセラーや学年の先生との教育相談」の設定など相談しやすい環境づくりに努めていきたいと考えています。そして、**生徒一人一人が安心・安全に登校し、お互いが大切にされる今田中学校を目指して、学校教育の充実を進めていきたい**と思っております。

各家庭におかれましても、お子さんの様子で気になること、また、どんな小さな情報でもありましたら、早い目に学校へお知らせください。学校と家庭が日頃から情報交換し合うことがこころ豊かな生徒の育成に繋がってくると考えています。今後とも、よろしくお願ひいたします。

今田中のみなさんへ

いじめ0宣言を掲載します。今一度、読んでみてください。そして、常に、自分自身の言動が振り返られる、温かい人であってほしいと思います。それが、あなた自身の幸せに生活する権利（人権）を守っていくことにつながり、集団の幸せを守ることにつながるのです。「いじめは絶対に許されない行為」は誰もがわかっています。

人の心は見ることはできません。悩んだり、苦しんだりしていることが言葉や行動に現れる時には、もう壊れてしまっていることが多いのです。それからでは、遅いのです。だから相手の立場に立って考え、人の痛みを思いやる気持ちが大切なのです。人を大切にすれば、自分も大切にされる。人を尊重すれば、自分も尊重される。だから、更に良い集団を作ること。それが、一人一人の安心・安全な生活を守ることにつながり、成長につながる。全ての人が、かけがえのない存在として、大切にされる学校を社会を目指して、今田中生、全員で伸びていきましょう。

いじめを見たときに「何もしない」という生徒が0であったことは、生徒たちの進歩であると捉えています。一人一人の心の成長が図られていると判断しています。今後も、一人一人が健康で、心健やかに成長していけるよう、心の耕しを圖っていきたくと考えています。

今田中いじめ0宣言

「考えよう 自分の行動 相手の心」

いじめのない学校を作るために次のことを宣言します

- どんなに小さなSOSでも見逃さない
- 傍観者には絶対にならない
- 人の心の痛みを分かり、互いに理解しよう
- 自分の思いを言葉にし、伝えよう
- 自分の言動が正しいか、振り返ろう

この宣言を一人一人が意識し、誰もが笑顔で過ごせる学校を作っていくことを誓います

平成28年2月24日

篠山市立今田中学校 生徒会

経緯

いじめアンケートの結果をうけ、2015年度の生徒会が検討し、今田中学校の生徒としてどのようにいじめに対処していくのかを1つの宣言文として掲げることにしました。

宣言文への思い

いじめのない誰もが笑顔で過ごせる学校を生徒みんなが心がけと行動でつくっていかうという思いがこめられています。

保護者の皆様へぜひ、ご一読ください。

兵庫県教育委員会では、「みんなでいじめをなくすために」という啓発チラシを保護者・地域向けに作成しています。ここには、いじめの早期発見のポイントがまとめられています。参考にしてみてください。

子どもの出すサインチェック

◎ 家庭で気をつけるポイント

いじめの被害者は、いじめられていることを言いにくい

- 家の人に心配をかけたくない
- いじめられたことを言ったことが分かると、さらにいじめられる心配がある

◎子どもの出すサイン

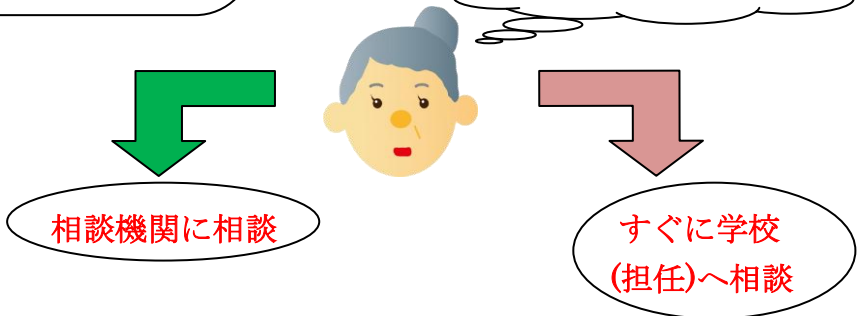
- 元気がない
- 食欲がない
- メールの内容を気にしすぎる
- 携帯電話・スマホを離さない
- 学習意欲が低下する
- 成績が急に下がる
- 友達の話をしなくなる
- どこことなくおどおどしている
- 持ち物がなくなる
- 落書きが目立つ
- 金遣いが急に荒くなる
- 金品を持ち出す
- 登校をしぶる
- あざや傷がある
- 服装の汚れや破れが目につく

いじめの加害者は、いじめと認識せずからかいたりたずらななどを遊び半分で行う

- 被害者が平気そうなので大丈夫
- 悪いのは自分だけではない

- すぐカッとなって、暴力を振るう
- 言葉遣いが荒くなる
- 買った覚えのないものを持っている
- 友達を呼び捨てにする
- 友達に軽蔑した口調で話す

「あれ？」もしかしてと思ったら



相談機関

いじめ相談全般 ◆ひょうごっ子〈いじめ・体罰・子ども安全〉24時間ホットライン

- 電話相談 9:00～21:00 (フリーダイヤル) 0120-783-111
携帯電話(有料) 0795-42-6004
- 夜間電話 21:00～翌9:00 0795-42-6559
- 面接相談 (予約)月～金の9:00～17:00

◆ひょうごっ子〈いじめ・体罰・子ども安全〉相談・通報窓口

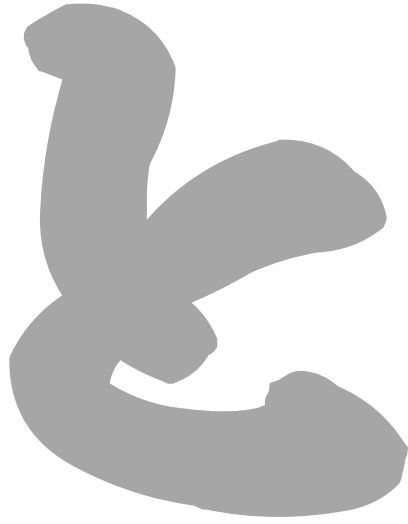
- ひょうごっ子悩み相談センター分室 (丹波教育事務所)**
- 電話相談 9:00～17:00 079-552-6059
 - 面接相談 (予約)月～金の9:00～17:00

言うものは、砂に流し、聞くものは、岩に刻む

【全校生アンケートの結果 71名】

- | | |
|-----------------------------------|-----------|
| • いじめられたことがある | 2人 (3人) |
| • 今もいじめられている | 0人 (1人) |
| • 人をいじめたことがある | 2人 (0人) |
| • いじめられている人を見たことがある | 5人 (4人) |
| • いじめられている人がいると聞いたことがある | 10人 (6人) |
| • あなたは、いじめられたとき、だれかに相談しますか | |
| 先生 (学校) | 37人 (51人) |
| 保護者や家族 | 50人 (52人) |
| 友達 | 48人 (55人) |
| スクールカウンセラー | 11人 (17人) |
| 相談しない | 3人 (4人) |
| • あなたは、いじめられている人を見たらどうしますか | |
| 注意する | 27人 (37人) |
| 励ます | 33人 (31人) |
| 先生に伝える | 33人 (46人) |
| 保護者や家族に相談する | 28人 (26人) |
| 友達に相談する | 38人 (35人) |
| 何もしない | 0人 (2人) |





研